



御賞典
上申書寫

3
1

911



114
A3656



博覽會ノ一大盛挙ニ御悵同國產出品ノ事

被決候ハ抑々申年初ニ興リ當時正院并其他

ヨリ数員ヲ此掛ニ被命出品区分ノ廣告層ヲ反

譯シ添エルニ我出品者ノ為ニ心得方ヲ記述

シ各府縣ニ布告スル等基礎創立ノ事務取扱来

候得共最初ハ出品者ノ有無ニ未タ難差定ヨリ

政府擔當ノ規模モ其大小如何ヲ豫定致シ兼假

令人民ノ中出品スルモ必ス人造品ニ止リ可申

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

ト思推セシヨリ重モニ天造物ヲ採集シ人造品
ハ出品者ノ欠ヲ補ヒ旁見本ノ為ノ少許出品ノ
見込ニテ官ノ出品着手ノ規模ハ極テ狭小ノ処
追々数月ヲ経過致シ候得共出品類ノ者モ無之
且談拳ノ如キハ宇宙未曾有ノ盛會ナルヘキハ
類ニ外國人ヨリモ演説有之候処僅在来ノ諸物
品ヲ取集メ差出候テハ却テ輕侮ヲ外客ニ招キ
結局榮辱ニ關係シ加フルニ多少ノ人員ヲ派出シ

隨テ少カラサル金額ヲ費セシモ更ニ得益ナキ
而已ナラス到底徒拳ニ属シ候テハ不相濟儀ニ
付更ニ再議ノ上大ニ局面ヲ擴張シ第一國土ノ
豊饒ト人工ノ巧妙ヲ以テ御國譽ヲ海外ニ揚ケ
彼學藝等ノ精妙ヲ看取シ他日物産蕃殖ノ道路
ヲ開キ尔来輸出ノ額數ヲ増加セシムル様件々
目的ヲ立百事業勇進諸製造品ノ如キ東京府下ハ
勿論遠ク各縣下ノ職工中有名ナル者ヲ招集シ

毎員懇諭ニ及ヒ加フルニ形状ヲルズヘキハ新
ニ国画等ヲ与ヘ良製ヲ促シ欧州各國品物ニ
譲ラサル程ニ製出ニ再ラ彼ノ需用ニ適シ候様
着目注意致シ候事ニ有之然ル故兼テ建言仕置
候通彼地ニ於テ各國官民競テ我列品所ニ輻湊
ニ甚價日ニ騰リ光榮顯着致シ候事ニ御着候是
即最初ヨリ取扱来候諸負殊ニ事務官ノ者前題目
的ノ庸々分任致シ不一方苦慮勦勤ノ然ラシム

ル所ニシテ壬申七八月以來出帆迄ノ所ハ彼地
汎出ノ者及ヒ在國ノ者共實ニ夏務繁忙日以テ
夜ニ繼キ彼地着ノ後ハ列品ノ配置ヨリ庭園建
ノ夏業ヲ始メ各國夏務官ト集會諸物品審査品
評等本務ノ餘假傍ラ機械妙用ノ工術ヲ見附シ
隨行人員中夫々其人ヲ選定傳習脩業ノ方法ヲ
調査尽力致シ今日筆舌ニ難尽辛勞ニ不少加之
元来出品人無之事故登會中及ヒ開閉前後ハ隨

行ノ諸員ト共ニ自ラ物品ノ運送等ヲモ取扱用
場後ハ一々観客ノ接待ニモ応シ隨行ノ向ハ各
區ニ分配車務官ニ補助代任モ致シ何レモ歸寓
ノ上ハ各般ノ夏跡着明ノ為メ勦テ諸簿冊ヲ閱
査シ殆間隙無之他國夏務官輩トハ職務ノ輕重
繁閑大ニ相違致シ候段ハ拙官目撃証左致シ候
処ニテ畢竟各員ニ於テ非常ニ勦勵目的ノ通り
夏務相運ニ大ニ榮名ヲ輝シ技業傳習ノ事業ヨ

リ各國多數ノ報告屆成譯且毎夏鄙見ヲ副編集
整頓仕候上ハ先前御委任ノ御主意ハ首尾無滯
施行仕候儀ト存候就テハ前頭深ク御賢察被為
在夏務官始隨行ノ者及ヒ本邦ニ在テ車務取扱
候官員ノ内格別出精致シ候者ハ別紙等差ノ賞
典被為行候様仕度將在澳中御手當筋ノ儀ニ車
務官等出帆後減省被仰度候儀モ有之候間此辺
モ御参考相成度尤用意金不足致シ候ヨリ不得

已減負ノ儀差起リ半途帰朝申達候者ニ有之其
 他出張人員中勤勞厚薄ニ有之候間其等差ハ別
 紙名前存ヘ記載申上候何卒銘々栄耀ヲ表ニ且
 ハ後末勸誘ノ御主意ニ相顯シ候儀ニ有特別ノ
 御詮議御座候様奉懇願候依之元總裁大隈重信
 一厚ク悞議ノ末別紙相添此段上申仕候也

元價國博覽會副總裁

議官 佐野常民

明治八年十二月三十日

太政大臣三條實美殿

別紙

元一級事務官兼審査官

田中 芳男

元一級書記官

山 高信 離

元一級事務官兼審査官

塩田 真

元一級事務官

近 藤 真 琴

右四名甲第一等

右二名甲第二等

元一級夏務官

佐々木長淳

同上

竹内正義

元一級夏務官

關 畢 月 青

同上

古

同上

小

安 徳 彦 彦

右三名甲第三等

元二級夏務官

石田為武

同上

武田昌次

元一級書記官

石川 巖

元二級夏務官

藤山 種 廣

元三級夏務官兼審査官通辨

平 山

元三級夏務官

竹 内

在國事務取扱

遠 藤 直 行

右七名乙第一等

元三級夏務官兼審査官

山 崎

山崎 彦 彦

山崎 彦 彦

右二名甲第二等

元一級支務官
佐々木長淳

同上
竹内正義

元一級支務官

關澤明清

同上

古川正雄

同上

小松燾盛

右三名甲第三等

元二級支務官

石田為武

同上

武田昌次

元一級書記官

石川巖

元二級支務官

藤山種廣

元三級支務官兼審査官通辨

平山成信

元三級支務官

竹内毅

在國事務取扱

遠藤直道

右七名乙第一等

元三級支務官兼審査官通辨

山崎直胤

祭

竹内毅
會計決算
別冊
金

乙第
金

右二名甲第二等

元一級支務官
佐々木長淳

同上
竹内正義

元一級支務官
關澤明清

同上
古川正雄

同上
小松熹盛

右三名甲第三等

元二級支務官
石田為武

同上
武田昌次

元二級書記官
石川巖

元二級支務官
藤山種廣

元三級支務官兼審査官通辨
平山成信

元三級支務官
竹内毅

在國事務東扱
遠藤直道

右七名乙第一等

元三級支務官兼審査官通辨
山崎直胤

祭資料

竹内毅等明治十年十二月
會計決算済近據當於終時
別冊附三付
金百圓

乙第一等
金七拾圓

元三級支務官

相原重政

元三級事務官

富田淳久

同上

緒方道平

元三級事務官心得番番官

納富介次郎

同上

津田仙

右六名乙第二等

右甲乙等差二從口相當ノ賞牌

元三級事務官

東條一郎

同上

和田収藏

同上

朝日昇

得心番番官通辨

緒方惟直

元隨行

松尾信方郎

同上

田中

右六名丙第一等

元隨行

藤島常身

同上

石井範忠

國持正三郎

國持正三郎

元三級支務官

相原重政

元三級事務官

富田淳久

同上

緒方道平

元三級事務官心得審査官

納富介次郎

同上

津田仙

右六名乙第二等

右甲乙等差ニ從ヒ相當ノ賞牌下シ賜リ度候

元三級事務官

東條一郎

同上

和田収藏

同上

朝日昇

心得審査官通辨

緒方惟直

元隨行

松尾信方郎

同上

田中清介

右六名丙第一等

元隨行

藤島常奥

同上

石井範忠

丙第一等

乙第二等

元三級支務官

相原重政

元三級事務官

富田淳久

同上

緒方道平

元三級事務官心得事務官

納富介次郎

同上

津田仙

右六名乙第二等

右甲乙等差ニ從ニ相當ノ賞牌下ニ賜リ度候

元三級事務官

東條一郎

同上

和田収藏

同上

朝日昇

元心得事務官通辨

緒方惟直

元隨行

松尾信友郎

同上

田中清介

右六名丙第一等

元隨行

藤島常奥

同上

石井範忠

乙第貳等

金五拾圓

丙第一等

金四拾圓

元隨行

伊藤信丈

日工

坂田春雄

日工

井口直樹

日工

中村喜一郎

在國夏務取扱

一

元隨行

伊

日工

松尾儀助

日工

松尾儀助

日工

阿原忠次郎

日工

若井兼三郎

日工

圓中文助

日工

椎野賢三

日工

山田藤三郎

右十五名丙第二等

在國事務取扱

河

隨行

石橋政信

國於三月
三月三日

伊藤信丈

元隨行

伊藤信文

日工

坂田春雄

日工

井口直樹

日工

中村喜一郎

在國夏務取級

一宮廣敷

元隨行

伊達彌助

日工

松尾伊兵衛

日工

松尾儀助

日工

河原忠次郎

日工

若井兼三郎

日工

圓中文助

日工

椎野賢三

日工

山田藤三郎

右十五名丙第二等

在國事務取級

河原德立

隨行

石橋政信

祭

丙第
全

元隨行

伊藤信文

日工

坂田春雄

日工

井口直樹

日工

中村喜一郎

在國夏務取扱

官廣敷

元隨行

伊達彌助

日工

松尾伊兵衛

日工

松尾儀助

日工

河原忠次郎

日工

若井兼三郎

日工

圓中文助

日工

椎野賢三

日工

山田藤三郎

右十五名丙第二等

在國事務取扱

河原徳立

隨行

石橋政信

祭資料

丙第貳等
金三拾圓

日上

平山英三

日上

吉田要作

日上

椎野正兵衛

日上

丹上

日上

朝金

日上

山添喜三郎

日上

近藤半次郎

日上

官城忠左衛門

海軍省

日上

清野三治

日上

早川忠七

右十二名丙第三等

右丙号等差ニ從ヒ相當ノ銀盃又

リ度候

海軍省

野田熊右衛門

生

内山

海軍省

日上

平山英三

日上

吉田要作

日上

椎野正兵衛

日上

丹山六郎

日上

朝倉松五郎

日上

山添喜三郎

日上

近藤半次郎

日上

官城忠左衛門

日上

清野三治

日上

早川忠七

右十二名丙第三等

右丙号等差ニ從ヒ相當ノ銀盃又ハ御品下ニ賜
リ度候

野田熊右衛門

生方弥三

内山平右衛門

丙第
金

祭

祭

日上	日上	日上	日上	日上	日上	日上	日上
平山英三	吉田要作	推野正兵衛	丹山六郎	朝倉松五郎	山添喜三郎	近藤半次郎	官城忠左衛門

日上	日上
清野三治	早川忠七

右十二名丙第三等

右丙号等差ニ從ヒ相當ノ銀盃又ハ御品下ニ賜
リ度候

野田熊右衛門
生方弥三
内山平右衛門

祭資料

丙第三等
金戴拾圓

祭資料

右八名丙第四等

佐久間芳五郎

中野雷吉

關口善助

小林市五郎

小林甚八

國史館
資料部

奥国博覧會へ召連罷越候別紙名前書ノ御雇外
國人^ドクトルワグ子ル^ル外五名ノ儀ハ兼而締約
ノ通り何レモ其職分ニ従事勉強致シ就中ワグ
子ル^ル儀ハ最初物品採集ノ節ヨリ厚ク配慮致シ
従来絨物産ニ丹練ナル者ニ付大ニ裨補相成彼
地ニ於テモ列品ノ配置ヨリ觀客接待ノ掛引ヲ
始メ毎件隻務官ニ傾力致シ專ラ御國ノ名譽光
輝致シ候様深真慮勉勵致シ加之技術傳習ノ事

佐久間芳五郎
中野雷吉
關口善助
小林市五郎
小林甚八

右八名丙第四等

奥国博覧會へ召連罷越候別紙名前書ノ御雇外
國人^ドクトルワグ子^ル外五名ノ儀ハ兼而締約
ノ通り何レモ其職分ニ従事勉強致シ就中ワグ
子^ル儀ハ最初物品採集ノ節ヨリ厚ク配慮致シ
従来我物産ニ丹練ナル者ニ付大ニ裨補相成彼
地ニ於テモ列品ノ配置ヨリ觀客接待ノ掛引ヲ
始メ每件隻務官ニ恨力致シ專ラ御國ノ名譽光
輝致シ候様深臈慮勉勵致シ加之技術傳習ノ事

佐久間芳五郎
中野雷吉
關口善助
小林市五郎
小林甚八

右八名丙第四等

丙第四等
金拾圓

奥国博覧會へ召連罷越候別紙名前書ノ御雇外
國人ドクトルワグ子ル外五名ノ儀ハ兼而締約
ノ通り何レモ其職分ニ従事勉強致シ就中ワグ
子ル儀ハ最初物品採集ノ節ヨリ厚ク配慮致シ
従来我物産ニ丹練ナル者ニ付大ニ裨補相成彼
地ニ於テモ列品ノ配置ヨリ観客接待ノ掛引ヲ
始メ毎件専務官ニ慣力致シ專ラ御國ノ名譽光
輝致シ候様深臆慮勵致シ加之技術傳習ノ事

業ヨリ購求貿易品ノ紹介報告書ノ取集且編集
等ニ至リテハ頗ル困苦相顕候跋ハ既ニ建言仕
置候通りニ付今亦多贅不仕候得共同人ノ如キ
ハ真ニ拔群ナル者ニテ賞譽可致者ト存候且我
費用相嵩候ヲ推察致シ七年五月以來ハ毎月為
旅費百五十圓技術傳習ノ者誘導ノ為メ被差遣
候百圓ハ固辞致シ候ニ付右一端ニテ同人ノ誠
意相顕可申次ニ「グレートベン」儀ハ彼地ニ於テ最

初建築ノ事務ニ擔任致シ候後養蚕生糸ノ取調
方ニ従事致シ「アレキサンドル」儀ハ
公使館ノ方主任ニハ候得共時々會場ノ引合向
ヲ下命助力致サセ且出帆前ヨリ編集課ニ協力
致シ「ヘンリー」儀ハ通辨並編集ノ西
科ニ従事致シ「モリサ」儀ハ庭園賣店ノ通辨ヲ引
受甲乙差等ハ有之候得共何レモ格別其任ヲ尽
シ候莫ク有之將タ「ワザ」儀ハ開場中ニ病死致

レノ候得共存生中ハ列品所ノ事務ニ擔當是又勲
力致シ候者ニ付何レモ御褒賞御座候様仕度依
テ勤弁等差相立別紙名前眷中へ記載元總裁大
限重信へ厚リ恨議ノ末別紙相添此段上申仕候
也

元園博覽會副總裁

議官 佐野常民

明治八年二月三十日

太政大臣三條實美殿

別紙

御雇外國人

ドクトルワク子ル

右第一等

グレベン

右第二等

バロニアキガンドルシーボルト

ヘンリーシーボルト

右二名第三等

右三等相當ノ賞牌下ニ賜リ度候

ワ
カ
ロ

右第三等

右ハ相當ノ祭梁料下ニ賜リ度候

ニ
ハ
エ
ル

右ハ相當ノ銀盃又ハ御臣下ニ賜リ

御上圓玉

右二名第三等

右三等相當ノ賞牌下ニ賜リ度候

ワ
カ
ロ

右第三等

右ハ相當ノ祭梁料下ニ賜リ度候

ミ
ハ
エ
ル
モ
ー
サ

右ハ相當ノ銀盃又ハ御品下ニ賜リ度候

金
同

右二名第三等

右三等相當ノ賞牌下ニ賜リ度候

ワ
カ
ロ

右第三等

右ハ相當ノ祭筥料下ニ賜リ度候

ミ
ハ
エ
ル
モ
ー
サ

右ハ相當ノ銀盃又ハ御品下ニ賜リ度候

金圓下賜

